



2年学年だより

発行日:令和6年6月28日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO. 3



考え、行動する力をつける

校長代理

中澤 務

5月30日に南高祭体育祭の部が無事行われました。今週期末テストを終え、来月12日には合唱コンクールが開催されます。南高・南高附属中の皆さんが熱心に学習活動や行事に取り組む姿勢は、いつも素晴らしいと感じています。しかし、そうした学校の日常も、安全に取り組むことができる状況があればこそのことです。

6月20日7校時、能登町立能都中学校から久田倫子先生を講師にお招きして講演会を行いました。久田先生は今年の1月に南高附属中の授業視察においでになる予定でしたが、能登半島地震があり、半年ほど来ることができませんでした。今回、ようやくおいでいただけることになったのですが、せっかくの機会なので、と私が無理をお願いし、南高附属中学生の皆さんに能登町の現状と学校の様子などについてお話しいただくことにしました。

久田先生はご自身も自家用車に寝泊まりされたり、水道が使えない状況を経験されたりしながら、1月15日からの学校再開や生徒の支援を懸命に進めてこられたことを話してくださいました。また、在校生やPTA、ボランティア、避難民の方の協力によって、避難所の引っ越しを行い、3月には体育館で卒業式を行うことができたことなど、学校の状況もお伝えいただきました。

能都中学校のホームページには卒業式での三井松夫校長先生による式辞が掲載されています。

今年度は、学校全体で防災教育にも取り組み、防災に関する様々な学習を通して、皆さんの防災への意欲も高まってきたと感じていました。そうした中で一月一日の地震は、想定を上回る規模で発生し、甚大な被害とともに、私たちの日常を一変させました。普通のことがいかにありがたかったか、身に染みて感じています。(中略) 命を大切にし、守るために、何が最善であるか、考え・行動する力を身に付けてほしい。できれば、その対象を自分自身にとどまらず、家族や友人、地域の人にもまで広げ、考え・行動できる人になってほしいと願っています。(能登町立能都中学校 HP 令和5年度卒業証書授与式学校長式辞より抜粋)

久田先生はご講演を通して、「自分たちで考えて行動することの大切さ」をお話してくださいました。地震後に生徒の意識が変わってきたこと、避難訓練で生徒が自分で考えて避難行動をするようになったことなど、私たちの防災意識を見直す視点をいただくことができました。急な企画にも関わらず、南高附属中学生の皆さんが熱心に講演を聞いてくれたことをうれしく思っています。今回の講演をきっかけにして、日頃の防災への意識を高め、状況に応じて考え、行動する力を大人も子どももみんなを高めていきたい、と思いました。

合唱への取組

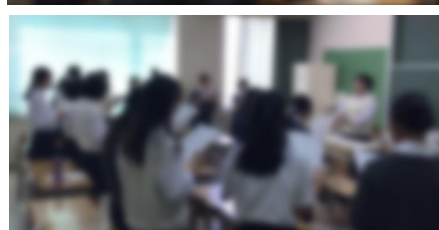
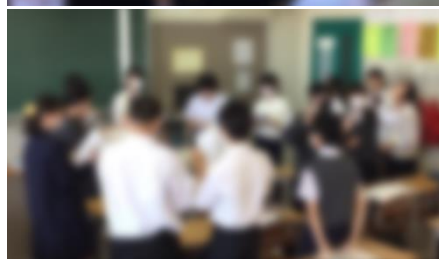
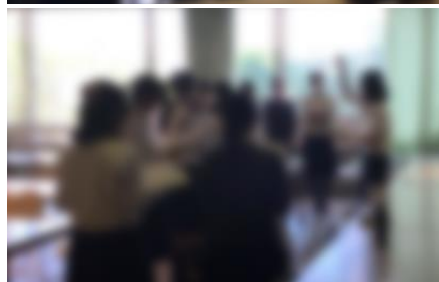
合唱コンクールに向けて2年生はどの学級も練習に熱がこもっています。欠席者が多いときに合唱練習を控える日もありましたが、7月12日(金)の本番に向けて練習をしています。

1組は「予感」を合唱します。最初は昼休みの始めの5分間に合唱以外の宿題をしたり、読書をしたりしている人がいました。しかし今では練習をしながら課題を見つけて全員で話し合い、みんなで素晴らしい合唱になるように頑張っています。

2組は「信じる」を合唱します。自分を信じ、あなたを信じることで世界を信じることができるという歌詞から自分たちがクラスみんなを信じることで一つの合唱が作りあげられるという思いで練習をしています。パートリーダーを中心に頑張っています。

3組は「春に」を合唱します。響きをよくするために、発声の仕方や音の大きさを意識しながら取り組んでいます。そして正しい音程になるように練習をしたいと考えています。合唱はみんなでつくるものなので、協調性を高められるようにしたいです。

4組は「流浪の民」を合唱します。ソロパートがあり、明るい曲調の反面、力強く芯のある部分もあるのがこの曲の特徴です。各パート練習、二つのパート合同練習を多くやっています。課題や特化することを決めて練習をしています。



【之を知る者は之を好む者に如かず、之を好む者は之を楽しむ者に如かず】

これは孔子の言行を弟子たちがまとめた「論語」の中の一節です。それが分かるということは、それが好きなことには及ばない。それが好きということは、それが楽しいことに及ばない。つまり、何かをやって楽しいことが一番だと孔子は述べています。

合唱コンクールに向けて生徒一人ひとりが楽しみながら練習に励むことが何よりだと思います。そして楽しみながら歌を歌って、みんなで何かをつくりあげることが、とても素晴らしいことだと思います。ラストスパート～がんばって!!

6月の学び

【6月11日(火)7校時 留学生講演会】

本校の高等学校で学んでいた留学生が帰国するということで、南高ホールにて留学生が中学2,3年生のために講演をしてくださいました。自分の国についてユーモアを織り込みながらの話はとてもおもしろく、記憶に残るものだったと思います。とても流暢な日本語で笑いを誘いながら、クイズを出して盛り上げてくれた留学生もいました。このことを一つのきっかけとして、外国に大いに興味をもち、いろいろなことを学んでほしいと思います。

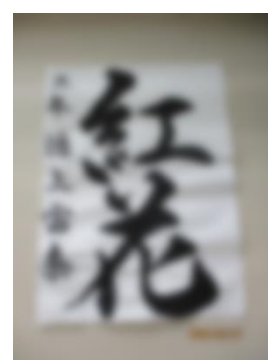
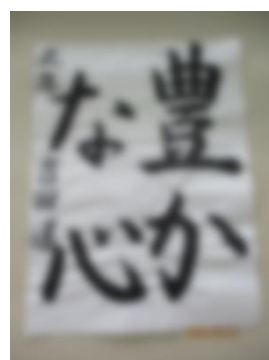
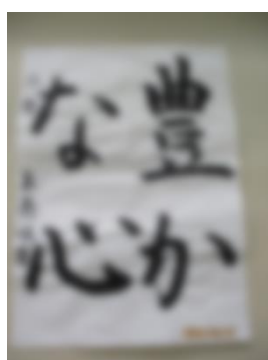
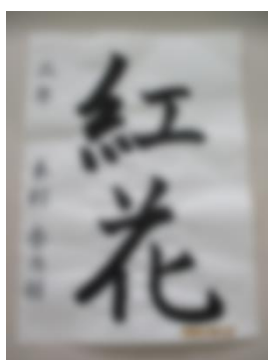
【6月15日(土)EGG 講演会「原爆先生」】

「7000℃の少年」というタイトルで NPO 法人「原爆先生」から池田真徳さんによる約100分の講演でした。広島に原子爆弾が落とされたとき、地上600mで爆発した原爆の中心から200mのところまでが7000℃もあったということです。それは地上600mのところに太陽がいるのと同様状態です。そのとき地上は3000℃に達し、爆風は毎秒440mもありました。川の水も蒸発してしまったそうです。

とても衝撃的な講演でしたが、日本に原爆が投下されたことは、決して忘れてはいけないことだと思います。そして平和の尊さを大切に、二度とこのようなことを起こしてもいけないし、起こさせてもいけないことだと思います。

【国語で毛筆書写を行いました】

6月19日(水)から4組、20日(木)から1,2,3組が3時間毛筆の授業を行いました。「紅花」と「豊かな心」を行書で書きました。みなさん、うまく書けましたか。静寂な雰囲気の中、丁寧に作品を仕上げようと努力している姿が印象的でした。



今月の“よし”ポイント!

祝日のない6月。実に21日間の学校生活でした。思い返すと、たった1カ月の中でもさまざまな学びのある月であったように感じます。普段の学習はもちろんですが、現在の能登のこと、約80年前の広島のこと。海外からの留学生の話。自分の世界を広げるさまざまな出会いや学びがあり、私自身、より視野を広げて生活できるきっかけとなりました。みなさんがそれぞれの場面で振り返った一つひとつの想いを大切に、これからも生活していきましょう。